

■ 基本情報 ■

【作成日】 2018年3月

【作成者】 A事業所 児童発達支援管理責任者

【情報提供】 相談支援基本情報・母親からの聞き取り

氏名	性別	生年月日	診断名
名古屋 治郎	男	2014年3月1日 (4歳0か月)	知的障害MR(手帳3度B) 自閉症スペクトラムASD

生育歴・A事業所利用までの経過

《分娩》正常分娩(妊娠40週) 《出生時体重》2,750g 《首の座り》4カ月 《ねがえり》3カ月
《座位》6カ月 《はいはい》8カ月 《人見知り》8ヶ月

11か月	当時は共働きだったため保育園入園。入園当時はよくなき、寝れなかった。
1歳半健診(2015/9)	発語なし、指差しなし。特に指摘を受けず。
1歳9か月	始語「ママ」「パパ」「バス」「ドーナツ」など。
2歳	数字やアルファベットに興味を持つ 場所見知り、人見知りが強い
3歳	二人目出産で母が仕事をやめ、保育園から幼稚園に変わる。送迎バスが気に入らなくなり、毎日泣かずに通う。
3歳児健診(2017/4)	特に指摘を受けず。
3歳6か月	「これ食べる」「お茶飲む」など言葉が増えるが、オウム返しも増える。しゃべるが会話にならない。友だちと関ることなく、一人であそぶ。
3歳9か月	オウム返しなどが気になり、幼稚園にも相談して、療育センター受診。自閉症スペクトラム・愛護手帳3度と診断。
3歳10か月	母親が区役所に療育の事業所を聞きに行き、事業所一覧をもらう。
3歳11か月	母親がA事業所に電話。A事業所の児発管からB相談支援事業所を紹介される。B相談支援事業所と契約して、A事業所を訪ねる。

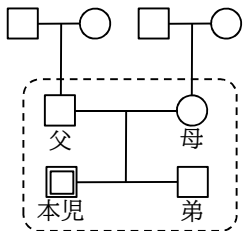
医療機関等の状況

- 療育センター受診時(3歳9か月)以降、定期通院は無し。
- 言語指導は、療育センター受診以後1か月に1回の頻度で通っている。

新版K式発達検査(2017年12月実施)

《CA(生活年齢)》3歳9か月 《姿勢・運動》2歳 《認知・適応》1歳6か月 《言語・社会》1歳1か月
《全領域》1歳7か月 《生活年齢と比較した段階DQ》35~50 《臨床診断》MR(知的障害)
《手帳》有、ASD(自閉症)

家族構成・家族状況



母(36歳) 専業主婦 本児が3歳まで、事務職でフルタイムで働いていた。第2子の出産で退職、再就職の意思はない。
本児が3歳9か月の時、喋っていても会話にならないことなどが気になり、療育センターに行ったところ自閉症と診断され、大きなショックを受ける。自閉症や福祉制度など、将来のことをとても心配していろいろと調べる行動力はあるが、相談できる友人がいない。

父(37歳) 会社員 休日には子どもと遊ぶなど、子育てには協力的。しかし、仕事が忙しくて帰宅が8時を過ぎる。障害については否定的ではないが、息子の将来像が崩れて残念に思っている。両親とも高学歴で、同じ道を歩むと思っていた。

弟(2017年3月生) 本児に対する関わりは薄い。母親は、生まれてからのことを心配していたが、弟がよく寝ておとなしい子だったためか、大きく動揺することはなかった。弟が1歳になり、動きが活発になり自己主張が始まると、本児はどう対応すればいいかわからず困っている様子。時には、突き飛ばしてしまうこともある。

祖父母 両親の祖父母も健在。何かあれば駆けつけてくれるが、埼玉と愛媛で遠いため、日常的には頼れない。

自宅の環境

- 木造2階建(戸建て住宅)の持家。
- 周りに一戸建てが並ぶ住宅街。近くには広場や遊具の揃った比較的広い公園があり、子育ての環境としては恵まれている。

利用状況・利用希望

- 幼稚園は、月曜日～金曜日まで毎日通園している。
- 今後、幼稚園への通園を午前中のみ短縮をし、児童発達支援事業所での療育を希望している。母親としては、目的に応じてA事業所のほかにも2か所の児童発達支援事業所利用を希望している。

医療機関等の状況

- B事業所(児童発達支援事業所)
- C事業所(児童発達支援事業所)
- 相談支援事業所
- 療育センター
- 幼稚園

■ アセスメント① ■

【作成日】 2018年3月

【作成者】 A事業所 児童発達支援管理責任者

【情報提供】 A事業所見学时・母親からの聞き取り

本児の様子（相談支援専門員・母親がはじめてA事業所を訪ねた時のこと）

- 2歳ごろに激しかった場所見知りや人見知りは、3歳を過ぎから落ち着いてきている。
- 当事業所をはじめて訪れた際、事務所(面談スペース)にも嫌がらずに入室できる。面談開始時は母親と隣で椅子に座っていたが、暫くすると立ち上がり事務室内をフラフラと歩きまわり、時には走ることもある。しばし様子を見て落ち着かないため、職員が保育室でのレゴブロック遊びに誘ったが興味を示さず、「ひかりこだま、ひかりこだま」と繰り返し叫びながら、部屋の隅を行ったり来たりして歩きはじめる。子どもの様子を見ていた母親からは、幼稚園の参観日でも遊んでいるよりウロウロする時間が長かったという情報を得る。
- 母親によると、「ひかりこだま」は最近よく唱えるお気に入りのフレーズであるとのこと。「いただきます、ひかりこだま」というように、言葉の語尾に「ひかりこだま」をつけて言うこともあるという。面接中も母親が座りなさいと伝えると、「すわりなさい、ひかりこだま」と言う場面が見られた。母親はこのことがとても気になる様子で、「そんなこと言わないの」と何度も本児に声をかけていた。
- 母親から車が好きだということを聞き、職員がミニカーの入ったカゴを出すとバスのミニカーを見つけあそびはじめた。その後、15分ほど寝転がってバスのミニカーを動かしたり見つめたりして静かにしていた。
- 面談が終了し、母親が「帰るから片付けなさい」と言うと、起き上がってカゴに片付けることができた。事業所スタッフから「すごいね」「片付けられたね」と褒められるが、本児は表情を変えずに玄関に向かって歩いて行った。
- 玄関に行くと、掲示板に張られていた”HAPPY BIRTHDAY”というマグネットを見つけ、「エービーシー、エービーシー」と、母親の腕を持って取って欲しいような仕草が見られた。母親が「大事なものだから」と言っても、「エービーシー」と繰り返しながら諦める様子が見られないため、事業所のスタッフが「いいですよ」とマグネットを1つ取って本児に渡したが、泣き出してしまった。母親によると、お気に入りのアルファベットがある様で、本児が欲しかったものと違ったのだろうとのこと。同様の場面は家庭でも良くあるという。自分の思いが伝わらなくて泣き出すことが1日の中でも何度もあり、母親も泣きたくることがあるという訴えがあった。最終的には、“A”と“B”のマグネットを手渡すことで泣き止んだ。母親は「もう返しなさい」と繰り返していたが手放そうとしなかったため、スタッフが「今度持ってきてね」と声をかけたところ、しっかり握りしめながら母親と一緒に帰って行った。

現在の家庭での様子

- 《**情緒面**》 自宅で本児のやりたいことができない時、泣いて怒ったり興奮してパニックになることがある。
- 《**睡眠**》 2か月に1回程度、夜間に泣き続けるなど不安定になることがある。本児の睡眠が乱れると家庭の生活リズムが崩れるので、母親としてはストレスが溜まり、昼間でも子どもに当たってしまうことがあるという。
- 《**弟との関係**》 弟とかかわることは少ないが、おもちゃをとられたり、弟が泣いたりすると、突き飛ばすことがたまにある。夜は父親の帰りが遅く、母親は家事が得意ではあるが負担が大きい。

家族からの要望

- 母親は「もっと早くから障害に気づけばよかった」と後悔しているという。今からでも手遅れにならないよう、親としてできることが何かないかと考え、母親なりに様々な情報を調べているようである。
- 幼稚園に対しては、個別対応スタッフが付いてくれないので適切な指導をしてもらえないと思っている。例えば、鉄棒の順番を並んで待つ場面では、はじめのうちは並んでいられるが、途中から列を離れてもスタッフによる支援がないので、結果的に鉄棒をせずに終わってしまうことがある。こうした場面を見て、幼稚園スタッフの目が本児に行き届いてない時があると感じているようである。
- 今できる訓練などを十分にできれば、後れを多少なりとも取り戻せるのではないかと期待をしているようである。
- 児童発達支援事業所のB事業所やC事業所では、椅子に座って話を聞くことや、会話ができるように言葉を覚えさせる訓練をしてくれると聞き、幼稚園を早退してでも月2日程度(午後)通わせたいと思っている。
- 遊びを通じた療育を主体とする当事業所(A事業所)に対しては、様々な遊び広く興味を持ちながら友だちと一緒に遊べるようになって欲しいと期待を持っている。また日中、当事業所での活動が充実するのであれば、夜はぐっすり寝てくれるのではないかと期待をしている。
- 食事面については、少しずつ食べられるものが増えていくことを期待している。
- 今後の心配事としては、卒園後の小学校就学をどのように選んだら良いのかわからず悩んでいることだという。

■ アセスメント② ■

【作成日】 2018年2月

【作成者】 相談支援専門員

【情報提供】 相談専門員による幼稚園の聞き取り

健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鼻水がよく出て中耳炎になりやすい。ただし、発熱に至ることがあまり無いため、幼稚園は休むことなく通園できている。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肉が好きで調理法を問わず食べるが野菜は食べない。フライドポテトとゆかりかけご飯は食べる。 ○ 箸は持ちたがるが握り箸でうまく掴めない。スプーンは手首の返しができず、こぼすことが多い。 ○ 昼食の際は、初めの5分程度は座っていられるが、やがて一口食べては立ち上がりフラフラと教室内を歩き回るようになる。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小便はトイレでできる。時間を見計らって声をかけると、嫌がらずに行き、自分でも「しっこしたい」と言ってトイレに行く。 ○ 大便を漏らすことは殆どないが、間に合わなかったときはパンツの中で出ても教えてくれない。
睡眠	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夜の睡眠は、2カ月に1回の頻度で夜中に起きてしまうことがある。一度そんな日があると2～3日続く。 ○ 午睡の寝つきに時間がかかる。アルファベットや数字の入った歌を聞きながらであれば、時間はかかるが寝ていくことができる。
着脱	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で着ようとせず、着せてもらう、穿かせてもらうのを待っている。パンツは自分で上げられる。 ○ 自分の服や靴下などはよく分かっており、たくさん並んでいても見つけることができる。
あそび	<ul style="list-style-type: none"> ○ ままごとが好き。“ままごとコーナー”に行くとき一人で茶碗におもちゃを入れて混ぜたり、スプーンで食べる真似をしたりして遊ぶ。部屋の中だけでなく庭でもままごとをする。 ○ 自動車が好き。チョロQを走らせたり、ミニカーを並べたりして一人で遊ぶ。 ○ 庭に出ると、“ままごとセット”か“コンピカー”のところに必ず行って遊ぶ。 ○ ブロックはどれも興味を示さないが、積木は積んであそぶ。小さな木箱に入った積み木を積み上げたり、また箱にいれたりして遊ぶ。 ○ 友だちと関わって遊ぶことは殆どないが、職員が「待て待て」と追いかけると、他の子と一緒に嬉しそうに逃げる。 ○ 数字やアルファベットを見るのが好き。絵本は自分でパラパラめくって見ている。アンパンマンの絵本は特に好きで、何回も自分でめくって見ている。 ○ 歌はどれも好きだが、数字やアルファベットが入った歌は何回もリクエストする。今は、「迷子の子猫ちゃん」が気に入っているようである。 ○ 手先は不器用なためシールがなかなか剥がせないが、シール貼りは好きなことの一つ。 ○ 体を動かすことには積極的ではないが、走ると速い。
対人関係とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○ 母親のことは大好きで、飛びついて抱かれに行く。幼稚園では特に親しい先生はいない様子。担任の名前を知らない。 ○ 物を取ってほしいなど、やってほしいことがあるとそばにいる大人の手をとって要求する。 ○ 一人あそびが多く、友だちには目が向いてない様子。友だちと一緒にあそぶわけではないが、嫌がることはない。 ○ 2歳ごろに見られた人見知りはなくなり、近頃はどの先生の膝でも座りに行く。 ○ 幼稚園での恒常的な活動であれば、先生の指示で活動に参加できるが、本児からの自発的な要求やコミュニケーションを取ることは難しい。 ○ オウム返しや、意味のない言葉の繰り返しが多い。